

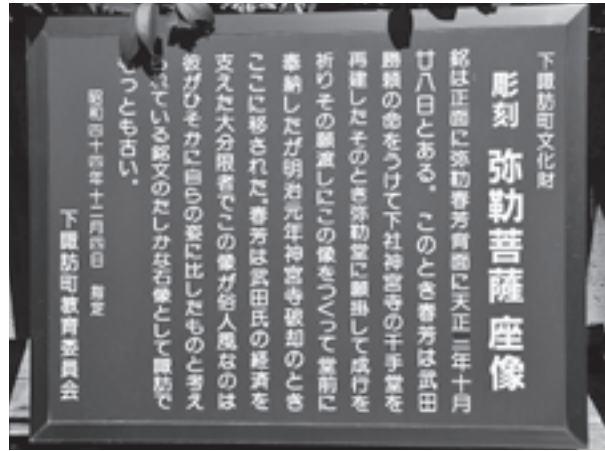
歴史的風致見て歩き

甲州道中歴史散歩 6月15日(日)



主催：諏訪湖博物館・赤彦記念館

弥勒菩薩石像



承知川の石橋



柿蔭山房



アララギ派の歌人島木赤彦の住居。赤彦は本名塚原俊彦、明治九年諏訪の角間に生まれ、下諏訪の久保田家に養子となり久保田俊彦。大正十五年三月ここで亡くなる。享年四十九歳。伊藤左千夫没後は傾いたアララギを立て直して、日本最大の短歌結社の基礎を築いた。「柿蔭山房」は赤彦が名付けた呼称で、高木には柿の木が多く山房にもあり、赤い色も好きだったことから、大正八、九、ころに名付けたようである。

歴史文化をまちづくりりに活かして

館長 宮坂 徹

して活用を図っています。

企画・特別展

諏訪湖博物館・赤彦記念館では、年に三回の特別展と一回の企画展を開催しています。特別展の基本的な考え方の一つに「ものづくり」をおいています。美術・工芸関係の展示では、作者の技術や制作過程を紹介し、作品を理解する一助としています。企画展「みんなの広場」は、特別展示室を開放し、地域で活動する皆さんの発表の場を提供する趣旨です。

講座・体験教室、そして町の歴史文化について、様々な角度からお話を通してお伝えします。公民館が窓口となっている出前講座は、各団体の皆さんの要望に応じて、博物館が持っている歴史文化に関する様々な情報をお伝えします。また、歴史散歩は、現地を歩いて肌で感じる歴史体験です。体験教室は、子供対象の「キッズクラブ」、一般対象の「悠遊工房」で、ものづくりを中心に、体験を通して歴史文化に触れてもらいます。このほか、島木赤彦、今井邦子を知ってもらうために、「赤彦忌」「邦子忌」、「島木赤彦文学賞」「赤彦童謡コンクール」などを開催しています。



「おれっちの」に 博物館は、友の会、柿蔭山房友の会、島木赤彦文学祭実行委員会、真木の会、島木赤彦研究会、博物館自主グループなど多くの人々に支えられて活動しています。「ロビーコンサート」は、友の会の協力でコーヒードリンクをしながら楽しめる開放空間になっています。だれでも気軽に集える地域の「文化サロン」に、「おれっちの博物館」と思ってもらえる身近な博物館を標榜して活動します。